

# 平成30年度 四国中央市ボランティア市民活動センター 事業計画書

## 【今年度テーマ】

市民交流棟を活用した事業拡大と認知度アップの強化

## 【重点実施事項】

### 1 ボランティア市民活動センターのプロモーション

今年5月から新たにケーブルテレビで放送開始した番組「やってみんの」において、センターとボランティア団体の活動を紹介しているが、今後も放送に向けて調整を行い広報活動に努める。

また、センターについて紹介するチラシを全戸配布するほか、校長会、幼保園長会、主事会等でも配布して、取り組みや活動に関する情報を発信し、センターの認知度アップ強化に努める。

### 2 センターの運営サポート組織の充実

今年度組織された高校生のお助けボランティアスタッフ（通称：ボラセブン）に運営企画補助やホームページ作成、機関紙作成を経験させることで、学生の視点や発想を活かした新たな企画の創出に期待するとともに、学生自身も成長できる機会を提供する。また、市民活動に高校生が関わっていることについてホームページや広報紙、さらには SNS などの多様なチャンネルを活用して紹介することで、若者世代も含めた幅広い世代のボランティア意識を高める。

### 3 企業ボランティア受け入れ体制の充実

企業ボランティアの活動を推進するためにも、ニーズ把握や受け入れ体制を整備し、登録の促進に努める。また、ボランティア活動のきっかけとなる顕彰制度の検討を行う。

## 【実施計画】

### 1 ボランティア市民活動センターの運営及び機能強化（設立12年目）

#### ①ボランティア情報の収集と提供

ボランティア活動に関する情報を収集し、提供することによってボランティア活動の活性化を図る。

#### ②ボランティア相談窓口の設置

ボランティア活動の需給調整・コーディネート力の強化を図り、活動に関する相談やグループ運営、NPO設立等についての支援を行い、市民参加・協働のまちづくりを推進する。

#### ③広報・啓発活動

ボランティア活動に関する広報・啓発を行い、市民・ボランティア活動を促進し、市民参加・協働による住みよい地域づくりを進める。

#### ④人材の育成と養成

市民・ボランティア活動に関する知識・技術を身につける研修や体験学習の機会を提供し、諸分野に渡る多くのボランティアを育成・養成する。（ボランティア市民活動研修会など）

<平成30年度ボランティア市民活動研修会 開催予定>

日時：8/27 13：30～15：00 場所：四国中央市保健センター 1階集団検診室

第2回～5回は11月以降に市民交流棟で開催 全5回

定員：各回20名程度 講師予定：NPO関係、CIR、こども食堂、企業ボランティアに関する方など

<平成30年度傾聴ボランティア養成講座 開催予定>

日時：1月以降開催 全6回

場所：市民交流棟 定員：各回20名程度

講師：加地 初美氏（産業カウンセラー）

#### ⑤ボランティアの交流とネットワークの促進

ボランティアグループ同士の交流と連携を促進するため、登録団体等の交流会を開催し、市民ボランティア活動のネットワークづくりをすすめる。（ボランティア市民活動交流会など）

<平成30年度ボランティア市民活動交流会 開催予定>

日時：平成30年10月6日 場所：市民交流棟

定員：100名程度 対象：市内で市民活動を頑張っている方（団体個人不問）

内容：団体発表、展示ブース、事務所見学など

#### ⑥ボランティア活動に関する調査研究

「第2次ボランティア市民活動推進計画」の最終実施年度として、具体的な実施方策について達成度の検証を行うとともに、市民・ボランティアの各種ニーズに対応・支援できるようにセンター機能の強化・充実を図る。また、第3次ボランティア市民活動推進計画の策定に向け、現状ボランティアに必要とされているものを研究し、本市の状況に即した計画が策定できるよう、調査・研究を行う。

#### ⑦ボランティアへの場所・設備の提供

新しく建設された市民交流棟内の事務所においてボランティア活動を支えるための会議場所や機器等を提供し、活動の支援を行う。

#### ⑧災害ボランティアの育成

市民の災害に備える意識啓発を広め、日頃からの備えや、災害時のボランティア活動の普及、安心・安全なまちづくりを進める。

<災害ボランティア研修会 開催予定>

日時：平成31年3月11日頃 場所：防災センター 定員：150名程度

※実際に災害を体験した方などを講師として招聘し、講演会を実施する予定

## 2 ボランティア教育の推進

### ① ボランティア学習の推進

次世代の担い手を育成する目的として、今年度から市内の一部学校で行っている視覚障がい者についての学習や放課後児童クラブでの点字教室などを、順次範囲を拡大して開催していくことで、本来子どもたちが持っているボランティア精神を引き出し、活動への自主性の発掘に努める。

## 3 ボランティアの活動支援

### ① ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備え、安心して活動出来るようにボランティア保険の加入促進を図る。